2021年3月24日　修了式にて
おはようございます。
さて今日をもって、令和2年度、2020年度が終わります。長かったような短かったような、今年度は、本当に大変な年になりましたね。
　昨年の2月末に「緊急事態宣言」が出され、全国の「学校」が一斉に休校になりました。これは、太平洋戦争中にもなかったことです。この宣言によって、私たちは、「ふつう」の暮らしができなくなりました。特に1年生は、「ふつう」が「ふつう」でなくなったことを、強く感じたのではないでしょうか。「ふつう」に行われるはずだった卒業式が、行えないのではないのかという不安があったでしょう。でも、船橋小学校の先生方が工夫して、精一杯の思い出に残る卒業式をしてくれたと聞いています。また、本校への入学も、全員がそろってのスタートが6月中旬ということで、それまでの期間、中学生になったようななっていないような、なんだか「宙ぶらりん」の気分だったでしょう。
　そんな「ふつう」の日常が突然「ふつう」じゃなくなって、初めて「ふつう」がいかに大切なのか、私たち大人も含めて、みなさんも本当に強く感じたことでしょう。あらためて、「ふつう」に学校に来て、みんなと共に学べる環境があること、このことを大切にしていってほしいし、私も大切にしていきたいと思います。
　さて、一昨年の4月に、皆さんに向けて「『学びに向かう力』の育成をめざした教育活動について」というお知らせをお配りしました。HP にもまだ残していますので、1年生の人も良ければ読んでおいてください。その中に、文部科学省が出したパンフレットから引用した文章をのせてありました。
　学校で学んだことが、子供たちの『生きる力』となって
　明日に、そしてその先の人生につながってほしい
　これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても
　自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し
　それぞれの思い描く幸せを実現してほしい
　そして、明るい未来を、共に創っていきたい
　という文章です。この文章は文部科学省が出したのですが、あらためて予言していたのか？と思うように「予測困難」な事態が起こりました。私は「何のために教育があるのか」「なぜ学ぶのか」という思いが込められているようにおもいます。つまり、「それぞれの思い描く幸せの実現」と「明るい未来を、創っていく」ための「生きる力」を育成するためにあるのだということです。この「生きる力」とは、「これからの社会が、どんなに変化

して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動」できる力であるということになります。

来年度から、新しい学習指導要領が完全実施されます。じつは 3 年も前から、完全実施に向け、この「生きる力」をつけるために、本校の学校教育目標を「気づく　つながる　創り出す」として、「気づく力」「つながる力」「創り出す力」を育成するために、様々な教育活動を行ってきたのです。

特に今年は、その前年の年だっただけに、このような状況だったけれど、「空白の一年にしてはならない」と私たちも覚悟を決め、規模を縮小したものもありますが、様々な行事や取り組みをほとんど実施し、「学び」についても考えてきました。iPad・オンライン短い期間に詰め込こまざるを得ない状況で、さぞかし大変だったとは思いますが、皆さんは、たくましく、たのもしく、存分に「生きる力」を発揮し、みごとやり遂げてくれました。それらの「姿」に勇気づけられ、多くの元気をもらいました。本当にありがとう。

また、「GIGA スクール構想」の前倒しということで、全員に iPad が配付され、学び方も大きく変わりました。はじめは物珍しさもあって、いろんなことに使っていたようですが、しだいに「よき使い手」としての活用が見られるようになりました。2年生のPRムービーも見せてもらいました。本当にすごい作品ばかりでした。最近は大学入試や就職活動で面接の代わりに、自己 PR ビデオを一次審査に使うところも多いそうです。みなさんなら合格間違いなしでしょう。みなさんは、これから生きていく中で、ずっと iPad を使っていくことになります。なにせ「Z 世代」ですからね。うまく活用し、「学び」を深める「道具」として、これからも「よき使い手」となり、自分の持っている力を伸ばしていくツールとして、「考えて」使っていってください。

こうしてこの一年を振り返ると、皆さんは、本当に歴史に残る、激動の一年を精一杯生きてきたのではないでしょか。将来、自信を持って語ることのできる年だったと思います。よくがんばりました。

明日から春休みに入って、約 2 週間後には進級します。2 年生は 3 年生になって、次の自分の進路に向け考えていかなくてはなりません。誰もが通る道です。1 年生は 2 年生になって「先輩」となり、学校の中核として様々な場面で力を発揮していかなくてはなりません。まだまだ感染症はおさまる気配はありませんが、負けずにいい招提北中の歴史をつくっていってください。

期待しています！

以上です。